

「お正月」ってなあに？

「もういくつ寝るとお正月♪」

皆さんは、お正月というと、何を思い出しますか？

「お年玉」「おせち」「初詣」「凧あげやコマ回し」「門松」いろいろありますね。

では、お正月ってなんだろう？

お正月は1年の幸福をもたらすために、それぞれの家庭にやってくるかとされる「年神様（としがみさま）」をお迎えする行事です。だから、「お年玉」「おせち」「凧あげやコマ回し」などのさまざまなお正月の風習は、年神様を歓迎するために生まれたもので、それぞれに意味があるのだそうです。

まずは準備。例えば「大掃除」。皆さんもしましたね。これは、年神様をお迎えするために、家や家の中にあるもの、神棚などをきれいにし、清めるための正月準備です。隅々まできれいにすれば、年神様が多くのご利益を授けてくれると言われています。

「除夜の鐘」、31日大みそかの夜に行います。夜12時に近づくと「ゴ〜ン」と聞こえてくるね。何回つくか知ってる？「108回」です。これは、煩惱といって、人間にある悩みや悪い考えなどを祓うためにつきます。

そして「お年玉」。楽しみですね。今は、お金をいただくことが一般的ですが、もともとはお餅だったそうです。年神様の魂といわれる鏡餅を分けていただくことがお年玉の由来だったそうです。

そして、お正月の遊びである「羽根つき」。1年の厄、悪いことをはねて、子どもの健やかな成長を願ったんだそうです。

このように、あまり、気にせず行っていることにも様々な願いや意味が込められています。興味をもった人は、この冬休みに ぜひ調べてみてくださいね。では、皆さんよいお年を。